

世界情勢と主の回復に関する時機を得た言葉:

#6:花嫁の準備 8/24-30 **OL Summary: I.** 小羊の婚姻は、神の新約エコノミーの完成の結果です。神の新約エコノミーは、キリストの法理的な贖いを通して、彼の神聖な命における有機的な救いによって、キリストのために花嫁、すなわち召会を獲得することです。**II.** 主の回復は、すべての勝利者から成るキリストの花嫁を準備するためです:**A.** すべての勝利者は、キリストの花嫁として千年間、その初期の新鮮な段階における新エルサレムとなります。**B.** 最終的に、すべての信者たちは勝利者たちに加わって、新エルサレムを満ち満ちた方法で究極的に完成し、完全にし、新天新地においてキリストの妻となって、永遠に至ります。**III.** 団体の花嫁の用意は、勝利者たちの命における円熟にかかっています:**A.** 新約において「完全」という言葉は、信者たちが神の命において完全に成長し、円熟し、完全になっていることを指すのに用いられています。これは、私たちが神聖な命において成長し円熟して、完全に至る必要があることを示しています。**B.** 私たちは成長し続けて、ついには神聖な命において円熟して、一人の完全に成長した人となり、キリストの豊満の身の丈の度量にまで到達する必要があります。**C.** 花嫁が円熟するために、彼女の信仰と愛が完全に発展する必要があります:信仰と愛は、キリストにある信者たちの、二つの切り離せない、卓越した美德です/信仰を通して、私たちは主を受け入れます。愛を通して、私たちは自分が受け入れた主を享受します/信仰は神によって私たちに与えられ、信仰によって私たちは、三一の神の具体化であるキリストを受け入れて、三一の神の中へと入り、彼と結合されて一となり、彼を私たちの命、命の供給、すべてとします/愛は信仰から生じます。そして愛は、私たちと共にキリストの中へと信じた者たちにおいて、三一の神のすべての豊富を生かし出し、三一の神に栄光なる団体の表現を得させます。**IV.** 花嫁は命において円熟することに加えて、団体のパースンとして建造されなければなりません:**A.** 神の建造は神の心の願い、また神の救いの目標です。**B.** 神が意図するのは、一つの建造を得て、その中で神と人、人と神が相互の住まいとなることができるということです。**C.** 神の建造の原則とは、神がご自身を人の中へと建造し、人をご自身の中へと建造することです:神がご自身を人とミングリングすることは、神がご自身を人の中へと建造することです/人が神とミングリングすることは、人が神の中へと建造されることです。**D.** 仲間の信者たちと共に建造されることは、主を忠信に追い求める者たちに対する主の至上で最高の要求です。**E.** 神聖な命に共にあずかる者たちと建造されることは、神の永遠のエコノミーにおいてキリストを追い求める者の最高の美德です。**V.** 花嫁の婚宴の礼服は「輝く清い細糸の亜麻布」からできています:**A.** 「清い」は性質を指しており、「輝く」は表現を指しています。**B.** 花嫁が着る細糸の亜麻布は「聖徒たちの義」です:キリストは、私たちが神に義とされるための義です。それは私たちが霊の中で再び生まれて、神聖な命を受け入れるためです:私たちの客観的な義として、キリストは私たちを彼の中で神によって義とする方です/私たちの主観的な義として、キリストは私たちの中に住んでいる方であり、神によって義とされることのできる生活、また常に神に受け入れられる生活を、私たちのために生きてくださいます/私たちはキリストの中に見いだされようとするなら、自分自身の義を持つので

はなく、自分自身の義ではなくキリストにある信仰を通しての義、すなわち信仰に基づく神からの義を持つという条件を満たさなければなりません/私たちが救いのために受けた義は客観的であり、私たちが義なる神の要求に応じることができるようになります、勝利を得た聖徒たちの義は主観的であり、彼らが勝利のキリストの要求に応じることができるようになります/マタイ22:11~13の婚宴の礼服は、私たちの超越した義として、私たちが日常生活で生かし出すキリスト、私たちを通して表現されるキリストを表徴します。**VI.** 花嫁を花婿にささげるために、花嫁は美しさを必要とします:**A.** 雅歌において、愛する者と愛する方はいずれも美しさを持っており、彼らは互いの中にある美しさ进行评估します。**B.** エペソ5:27は花嫁の美しさを語っており、「しみやしわや、そのようなものが何もなく、聖くて傷のない栄光の召会を、彼[キリスト]がご自身にささげる」ことを啓示しています。**C.** 召会の中へと造り込まれ、そして召会を通して表現されるキリストから、花嫁の美しさは出て来ます。**D.** 私たちの唯一の美しさは、私たちの内側から輝き出るキリストです。キリストが私たちの中で評価するものは、ご自身の表現です。**E.** 「あなたの目は美しさの中にある王を見て」(イザヤ33:17)、「王はあなたの美しさを慕い求める」(詩45:11)。**F.** 「わが愛する者よ、あなたは美しいことテルザのよう、愛すべきことエルサレムのよう、恐ろしいこと旗印を持った軍隊のようである」(雅歌6:4)。**VII.** 花嫁はまた、神の敵を打ち破る戦士でなければなりません:**A.** エペソ5:25~27と6:10~20で、私たちは、召会が花嫁と戦士であることを見ます。啓示録19章にも、召会のこれら二つの面があります。**B.** キリストは彼の婚宴の日に、神の敵と長年戦ってきた者と結婚します。すなわち、キリストはすでに邪悪な者に打ち勝った勝利者と結婚します。**C.** キリストは戦う将軍として、彼の軍隊である花嫁と共に来て、ハルマゲドンで反キリストと戦います:キリストは彼の軍隊と共に来るとき、人の子として来ます/彼は人の子として、彼に符合し、彼を完全にする配偶者を必要とします。この配偶者は彼の花嫁です/主は言であり、彼の戦いは神の言を語ることで、主は戦う時、神のために語り、神を表現します/ハルマゲドンでの主の戦いは、力強い語りかけです/婚宴の礼服(私たちの日常の義として私たちから生かし出されるキリスト)は、私たちが婚宴に参加するように資格づけるだけでなく、軍隊に加わってハルマゲドンの戦いで、キリストと共に反キリストと戦うように資格づけます。**VIII.** 団体のキリスト(キリストと彼の勝利を得た花嫁)は、石として来て人類の統治の総合計を打ち砕いて、神の王国をもたらします:**A.** ダニエル2章は、キリストが人手によらずに切り出された一つの石として来ることについて語っています。啓示録19章は、キリストが彼の軍隊としての彼の花嫁を持つ方として来ることについて語っています。**B.** キリストは地に下って来て、反キリストと人類の統治の総合計を対処する前に、婚宴を持ち、彼の勝利者たちを彼ご自身に結合させて一体とならせます。**C.** 主は婚宴の後、彼の新しくめとった花嫁と共にやって来て、反キリストを滅ぼします。この反キリストは彼の軍隊と共に、直接神と戦います:神の言である主イエスは、彼の口の息によって反キリスト、すなわち不法の者を殺します。**D.** 人類の統治を打ち砕いた後、神は全宇宙を一掃します。その後、団体のキリスト、すなわち、キリストと彼の勝利者たちは、大きな山となって、全地を満たし、全地を神の王国とします。

召会のお知らせと交わり: 9月の特別集会: 今年、各地方召会ごとに行います。神戸のスケジュールは、以下の通りです。メッセージはエド B のビデオをみます。
9/19(土)10:00-12:00,13:15-15:15 M1,2@本山/魚崎/六甲
9/20(主)13:00-15:00 M3@本山/魚崎/六甲/三宮
9/21(月)10:30-12:30 M4@六甲山 RG, 本山/六甲(10-12), 12:30-13:30 昼食@RG, 13:30-15:30 福音ブレンディング
9/22(火)9:30-11:00 祈り集会@本山/魚崎/六甲,
その後バイタルグループ毎に福音・牧養

CP1: 主の回復の目的は、団体の建造された花嫁を準備し、主の再来をもたらす、時代を転換させるためである。啓示録 19:7 私たちは喜び歓喜し、彼に栄光を帰そう。小羊の婚姻の時が来て、彼の妻は用意を整えたからである。9 御使いは私に言った、「小羊の婚宴に招かれている者は幸いである、と書き記しなさい」。彼はまた私に言った、「これらは神の真実な言である」。エペソ 4:13 ついに私たちすべては、その信仰の一に、また神の御子を知る全き知識の一に到達し、一人の完全に成長した人に到達し、キリストの豊満の身の丈の度量にまで到達するのです。

OL1: 小羊の婚姻は、神の新約エコノミーの完成の結果です。神の新約エコノミーは、キリストの法理的な贖いを通して、彼の神聖な命における有機的な救いによって、キリストのために花嫁、すなわち召会を獲得することです。**OL2:** 主の回復は、すべての勝利者から成るキリストの花嫁を準備するためです。**OL3:** 団体の花嫁の用意は、勝利者たちの命における円熟にかかっています。花嫁が円熟するために、彼女の信仰と愛が完全に発展する必要があります。**OL4:** 花嫁は命において円熟することに加えて、団体のパースンとして建造されなければなりません。**OL5:** 仲間の信者たちと共に建造されることは、主を忠信に追い求める者たちに対する主の至上で最高の要求です。

ある人は、花嫁を準備する働きはカトリック、宗派、単立グループの中の霊的な人たちの間にあると言うかもしれませんが。この見方によれば、キリストは来られる時、これらすべての霊的な人たちを集めて、彼の花嫁へと形成されるでしょう。しかしながら、これは主の道ではありません。主は来て、花嫁を構成する人々を集められるわけではありません。主は来て、すでに準備が整えられた花嫁をご自身にささげられるのです。この準備は、団体的に建造する働きを含んでいると、私は信じます。花嫁を構成する人たちは、命において円熟していなければならないだけでなく、一人の花嫁として共に建造されていなければなりません。ですから、私は、主が彼の回復にいる人たちの間で、彼の花嫁の準備を整えておられると堅く信じます。

私の負担は、主の回復がもう一つのクリスチャンの運動、あるいは一般的なクリスチャンの働きでないことを、私たちがみな認識することです。回復における働きは、花嫁を準備する主の真の働きです。私は、来たるべき年に、さらに多くの忠信に主を追い求める人たちが、主の回復の道に転換すると信じます。彼らは他のどの場所にも、内側の確信がないことを認識するでしょう。私たちは主の回復の道に転換した時、私たちが取っている道に主が証印を押してくださったという、深

い感覚を内側に持ちました。主の回復における主要な働きは、全地に福音を宣べ伝えることではなく、彼の花嫁の準備をすることです。

あなたは花嫁の一部に含まれているという確信を持っているでしょうか? …私は単なる日曜信者が、主の花嫁の一部になることができるとは思いません。主が花嫁をめとりに来られるとき、あなたは用意ができているでしょうか? あなたは資格づけられ、円熟しているでしょうか? …私たちはみな成長し、円熟して、主の来臨のとき、彼の花嫁の一部として含まれるように資格づけられる必要があります。

適用: ビジネスパースン・大学院生編

主の回復の目的はキリストの団体的なからだを建造して、キリストの団体の花嫁の準備を整えることです。あなたは神聖な分与に開き、神が人の中に建造され、人が神の中に建造されることを経験しながら、造り変えられ、他の人と共に建造されるべきです。言い換えると、主の回復の目的は多くの個別の霊的な人を持つことではありません。あなたは必ずあなたにアレンジされた兄弟姉妹と組み合わせられて奉仕する必要があります。

兄弟の証し: 私が台湾全時間訓練(FTTT,1986~1988)に参加した最後の半年、私のチームメンバーのオランダから参加していた比較的年長の姉妹が、チームリーダーであった私に、「あなたはたくさんの人をバプテスマしているが、私はほとんど人をバプテスマすることができません。(あなたはリーダーのくせに)なぜ私を助けてくれないのですか?」と怒って言いました。私は心の中で怒って、「あなたがバプテスマできないのは、あなたの責任ではないか? いつも私が言っていることをなぜ実行しないのか?」と言いました。しかし、聖霊は彼女の言葉を何度も私の中で語り、私の内側の個人主義を照らし続けました。その後、私は大いに悩まされたので、ウイットネス・リー兄弟が1960年代に台湾で解放された建造に関するメッセージをたくさん読みました。これらの建造に関するメッセージの助けにより、特に「信者仲間と組み合わせられて奉仕すること」と「リーダーシップ」について学ぶことができ、実際にその姉妹を助けることができました。ハレルヤ! 団体の花嫁の準備のために、私の個人主義は対処され、他の人と組み合わせられる必要があります。私はこの経験によって、会社でリーダーシップを発揮して組織をまとめて前進させる秘訣を学びました。

更にキリストの花嫁は勝利者によって構成されています。ビジネスパースンであるあなたは、勝利者になる志を持って主の証しのために、すなわち、信仰と愛を持って、職場でキリストを経験し、召会生活と福音のために残業を制限し、召会を財政的に支え、勤勉に働いてください。そうすれば、あなたは神のエコノミーにつながったビジネスライフのゆえに、祝福され、花嫁の一部分となる勝利者になることができます。**祈り:** 「おお主イエスよ、主が必要としておられるのは個別の多くの霊的な人々ではなく、命の中で、組み合わせられ建造された団体の花嫁です。主よ、建造のために、私の個人主義を対処してください。勝利者になる志をもって、主の証しのために職場でキリストを経験し、召会生活のために捧げ、花嫁の一部分となることができますように。花嫁は主の再来をもたらす、時代を転換させます。アーメン!」

CP2 義に飢え渴き、主観的な義を生かし出すことで、
婚宴の礼服を着て、花嫁の美しさを表現する

啓19:8 彼女は輝く清い細糸の亜麻布の衣を着ることを許された。その細糸の亜麻布の衣は、聖徒たちの義である。ピリピ3:9 そして、キリストの中に見いだされるためです。それは、律法に基づく私自身の義を持つのではなく、キリストにある信仰を通しての義、すなわち、信仰に基づく神からの義を持って。エペソ5:27 またそれは、しみやしわや、そのようなものが何もなく、聖くて傷のない栄光の召会を、彼がご自身にささげるためです。

OL1:花嫁の婚宴の礼服は「輝く清い細糸の亜麻布」からできています。**OL2:**キリストは、私たちが神に義とされるための義です。それは私たちが霊の中で再び生まれて、神聖な命を受け入れるためです。**OL3:**私たちの主観的な義として、キリストは私たちの中に住んでいる方であり、神によって義とされることができる生活、また常に神に受け入れられる生活を、私たちのために生きてくださいます。**OL4:**婚宴の礼服は、私たちの超越した義として、私たちが日常生活で生かし出すキリスト、私たちを通して表現されるキリストを表徴します。**OL5:**花嫁を花婿にささげるために、花嫁は美しさを必要とします。召会の中へと造り込まれ、そして召会を通して表現されるキリストから、花嫁の美しさは出て来ます。「わが愛する者よ、あなたは美しいことテルザのよう、愛すべきことエルサレムのよう、恐ろしいこと旗印を持った軍隊のようである」(雅6:4)。

聖書全体の啓示によれば、私たち救われた者には二枚の衣が必要です。一枚は私たちの救いのため、一枚は私たちの褒賞のためです。救いのためには、私たちが覆う衣が必要です。この衣はルカ15章で、放蕩息子に着せられた衣です。放蕩息子は帰って来ると、…自分自身には父の前に出る資格がないと思いました。ところが、父はしもべに、「急いで、あの最上の衣を持って来て彼に着せ」と言いました(ルカ15:22)。この衣は、私たちの義としてのキリストです。それは、私たちが神の臨在の中で神によって義とされるためです。

しかしながら、私たちはまた第二の衣、すなわちマタイ22:11~12にある婚宴の礼服を必要とします。この礼服は私たちの救いのためではありません。そうではなく、それは私たちの褒賞のためであり、神の御子の婚宴に参加する資格を与えるものです。第一の衣は私たちが資格づけて、私たちの救いのために神に応じさせます。第二の衣は私たちが資格づけて、私たちの褒賞のためにキリストに応じさせます。第二の衣は、私たちの内側の聖霊の働きです。それは実は、私たちが生き、生かし出すキリストです。それは、私たちを通して日常生活において表現されるキリストです。これが啓示録19:8の聖徒たちの義です。

キリストは私たちの中へと入って来て、私たちによって吸収されなければなりません。そうすれば、彼は私たちから輝き出すことができます。この輝くことは花嫁の栄光であり、神性が人性を通して現れることです。真の美しさは、人性を通しての神聖な属性の表現です。宇宙でこの表現ほど美しいものはありません。ですから、花嫁の美しさは、私たちから輝き出るキリストです。…私たちの人性を通して、神聖な色彩、神聖な外観、

神聖な香り、神聖な性質、神聖な特徴の表現があります。そのような美しさのゆえに、ハレルヤ!

適用:新人及び青少年・大学生編

マタイ5:6 義に飢え渴いている人たちは幸いである。彼らは満ち足りるからである。FN「義に飢え渴いている」:この義は、振る舞いにおいて正しいことを意味します。私たちはこの義に飢え渴き、そのような義を追い求める必要があります。そうすれば、私たちは天の王国に入ることができます。

20 私はあなたがたに言う。あなたがたの義が聖書学者やパリサイ人の義にまさっていないならば、あなたがたは決して天の王国に入ることはない。

墮落した人の正義感の標準は非常に低いです。多くの日本人は、自分がいじめなどの罪に直接関わっていないならば、自分は義であると考えています。いじめられている人を助けようとする、自分もいじめの対象になってしまう可能性がある、見て見ぬふりをします。このような場合、日本人の義に従うと、不義ではありません。あなたの義が個人主義などによって引き下げられた人類の義に勝っていないならば、あなたは第二の衣である主観的な義を生かし出しておらず、勝利者になることはできません。

義を実行しようとする時に、「自分も巻き込まれないように注意しないといけないので、義を実行するのは難しい」という考えはサタンから来ています。聖書は義に飢え渴くように勧告しています。あなたは、サタンからの提案を退け、聖書に従ってまた霊に従って、義に飢え渴き、義を実行してください。例えば、いじめられている人がいれば、その人を支えてあげるべきであり、周りの人に自分はいじめに反対であるという態度を表明するべきです。義を実行しようとする時、「自分が得するのか、損するのか」という考えを十字架に付けてください。そうでないと、あなたは決して義に飢え渴いた人になることはできません。実はあなたは義を実行することで、損するのではなく、神があなたを祝福されます。**姉妹の証し:** 買い物をした時、家に帰ってから代金を払っていない商品が混じっているのが分かりました。これは放っておくことは不義になるので、お店に説明して返しました。そのお店はそのように返品されたことに感動して、店の商品券を贈呈してくれました。**ヨハネ8:44** あなたがたは自分たちの父、悪魔から出たのであり、自分の父の欲望を行なうことを願っている。悪魔は初めから人殺しであって、真理に立っていない。なぜなら、彼の中に真理はないからである。彼はうそをつく時、自分の持っているものから語る。彼はうそつきであり、うそつきの父だからである。

あなたが義を実行しようとする時、嘘をつくことを徹底的に対処する必要があります。自分の利益を考えて、「ちょっとぐらい嘘をついても大丈夫」と考えるのは明らかに悪魔から来ています。**祈り:**「おお主イエスよ、勝利者になるために義に飢え渴きます。墮落した人類の低い標準の義に従うのではなく、義の命であるキリストを生かし出し、義を実行します。私の中の個人主義、損得勘定、見て見ぬふりをすること、嘘をつくことの罪を告白します。私の罪を赦してください。キリストを表現し、第二の衣を着た勝利者にならせてください。アーメン!」

CP3: 団体の花嫁・戦士となり、毎日神の言を語って、サタンに敵対し、戦い続ける。最終的にハルマゲドンの戦いで神の言で反キリストを打ち破り、神の王国をもたらす。エペソ6:10 最後、主の中で、また彼の力強い大能の中で力づけられなさい。啓19:13 彼は血に浸された衣をまとっている。また、彼の名は神の言と呼ばれる。14 そして天にある軍勢が白い馬に乗り、白くて清い細糸の亜麻布を着て彼に従った。15 彼の口からは鋭い剣が突き出ており、彼はそれをもって諸国民を打つのである…。

OL1: 花嫁はまた、神の敵を打ち破る戦士でなければなりません。**OL2:** 団体のキリスト(キリストと彼の勝利を得た花嫁)は、石として来て人類の統治の総合計を打ち砕いて、神の王国をもたらします。

「輝く清い細糸の亜麻布」(啓19:8)の婚宴の礼服は、戦いのための武具となります。天の軍勢である勝利者たちは、キリストの花嫁を構成する人たちです。言い換えれば、それはキリストの花嫁であり、彼の軍勢として彼に従って、反キリストとその軍勢と戦い、滅びます。あらゆる妨げに打ち勝つ者は、反キリストとの最終の戦いにおいてキリストの共同の戦士となります。これらが彼の花嫁です。彼らは、彼の豊かな命の供給を彼らに分け与えることによって彼の共同の戦士となりました。

エペソ5章と6章で私たちは召会が花嫁と戦士であることを見るように、啓示録19章にも召会のこれら二つの面があります。召会として、私たちは花嫁また戦士です。神のエコノミーには、団体の戦士で構成された一つの軍隊があります。これは、エペソ6章における戦士が団体の実体であることを意味します。団体の実体、すなわちからだとしてのみ、私たちは神のすべての武具を身に着けることができます。これは多くのクリスチャンが抱いている、個人の信者が武具全体を着けることができるという観念に反しています。エペソ6章の武具は、個人としてのクリスチャンのためではありません。それは団体的にからだ…団体の軍隊としての召会のためです。6:17~18によれば、私たちはすべての祈りと願い求めによって、救いのかぶととその霊の剣を受け取ります。…武具のさまざまな項目の中で剣だけが攻撃的な戦いのためです。すなわち、それは敵を攻撃するために用いられる神の武具の唯一の項目です。サタンは私たちの外側の敵であるだけではありません。彼はまた私たちの内側の内敵です。…敵の要素が私たちの内側にあるので、私たちは、私たちの存在に主観的に適用される言葉の殺す力を必要とします。神の言を祈り読みすることは、私たちの内側の内敵を殺す方法です。毎日、どんな状況でも、私たちは祈り読みすべきです。

啓示録19章でキリストは神の言として、反逆的な人々に神の裁きを執行することによって神のために語ります。…キリストが戦うことは神の言を語ることです。神は義であり、主権を持っておられます。彼はまた秩序の神であり、そのような方として彼は無秩序と反逆を容認することができません。キリストは敵と戦うとき、神は主権を持っており、義であり、秩序正しいと語ります。彼は、神はすべての人を支配する神であり、神の権威に対する反逆を容認されないと宣言します。このゆえに、戦士は御言であるのです。彼の戦いは、神の言を語ることです。

適用: 奉仕者編

婚宴の礼服(私たちの日常の義として私たちから生かし出されるキリスト)は、私たちが婚宴に参加するように資格づけるだけでなく、軍隊に加わってハルマゲドンの戦いで、キリストと共に反キリストと戦うように資格づけます。勝利者たちは「花嫁・戦士」です。サタンは、あなたの外側で神の敵であるだけでなく、あなたの肉の中に住んでいる内側の敵でもあります。ですから、あなたが思いを肉に付けると、あなたはサタンと会話して不信仰な言葉を語ります。その結果は死です。ローマ8:6 肉に付けた思いは死ですが、霊に付けた思いは命と平安です。

例えば、あなたは奉仕をする前に、「自分はこの奉仕をすることで兄弟姉妹から称賛されるだろう」と考えます。これは思いを肉に付けることです。あなたはこのようなサタンから来た言葉を受け入れて心の中でつぶやいた汚れの罪を告白し、御子イエスの血で清められる必要があります。汚れた思いを持ったまま決して奉仕をしてはいけません。神は侮られるような方ではありません。ガラテヤ6:7 欺かれてはなりません。神は侮られるような方ではありません。なぜなら、人がまくものは何であれ、それをまた刈り取るからです。8 自分の肉へとまく者は、肉から腐敗を刈り取りますが、その霊へとまく者は、その霊から永遠の命を刈り取ります。

肉に付けられた汚れた思いを対処する道は、主の御言葉を祈り読みすることです。主イエスは神の言葉によって反キリストを殺します。同様に、あなたの内側のサタンの邪悪なささやきを殺すのは神の言葉を祈ることによります。実はこのようなサタンのささやき、訴えは、一日に何度も何度もあるので、あなたは絶えず霊の中で祈り、御言葉を宣言しなければなりません。御言葉によってのみ、あなたはサタンの訴えを抵抗することができるのです。また、御言葉によってのみ、あなたは自分の汚れに気づき罪を告白することができるのです。あなたは奉仕者として、毎朝、御言葉を祈り読みして復興され、一日中、御言葉を反芻し、霊の中で御言葉を用いて祈らなければなりません。あなたがこのように一日中戦い続ける人であるなら、ハルマゲドンの戦いでキリストと共に反キリストとの戦いにあずかる勝利者になります。兄弟の失敗の証し: 大学4年生の12月の時、召会の責任者の兄弟に「大学院進学で移住する前に、もう一人学生を救って欲しい」と言われました。私は主に祈り、約一週間後に大学の後輩を救いにもたらしました。この時サタンは私にささやいて、「あなたは振り返って思い出してください。大学の2年~4年の間に、約40名の方が救われ、大学院も合格し、今また一人救われました。あなたは自分の優れた点に注目して少し高ぶってもいいんじゃないか?」と言ってきました。このようなささやきを受け入れた後、私は暗闇の中に落ち込み、サタンの奴隷になってしまい、苦しい日々が約3ヶ月間、移住するまで続きました。サタンのささやきを受け入れることは恐ろしいことです。祈り: 「主イエスよ、サタンは私の肉の中に住んでいる内側の敵です。私が思いを肉に付け、サタンと会話するとその結果は死です。私の罪を赦し、汚れを清めてください。毎朝、御言葉を霊の中で祈り読みし、復興され、御言葉を用いて祈り、日夜訴えるサタンと戦い続けます。神の敵を打ち破る団体の花嫁・戦士の一部とならせてください。アーメン!」